

ウィズセキュア株式会社



●免責事項

本書は、本書記述時点の情報を基に記述されており、特に断りのない限り、本書内の記述は、本書記載時の製品のバージョンを基にしております。例の中で使用されている会社、名前およびデータは、別途記載のない限り架空のものとなります。

エフセキュア株式会社(以下、弊社)は、本書の情報の正確さに万全を期していますが、 本書に記載されている情報の誤り、脱落、または、本書の情報に基づいた運用の結果につい て、弊社は、如何なる責任も負わないものとします。本書に記載されている仕様は、予告な く変更する場合があります。

●商標

F-Secure および三角形の記号はエフセキュア株式会社の登録商標です。また、弊社の製品名および記号/ロゴは、いずれも弊社の商標です。本書に記載されている全ての製品名は、該当各社の商標または登録商標です。弊社では、自社に属さない商標および商標名に関する、いかなる所有上の利益も放棄します。

●複製の禁止

本書の著作権は弊社が保有しており、弊社による許諾無く、本書の一部であっても複製することはできません。また、譲渡もできません。

●お問い合わせ

弊社は常に資料の改善に取り組んでいます。そのため、本書に関するご質問、ご意見、ご要望等ございましたら、是非 japan@f-secure.co.jp までご連絡ください。



1. リリースノートをご覧頂き、対象端末が F-Secure Linux Security 64 の動作要件を満たしているかご確認ください。

[F-Secure Linux Security 64 リリースノート]

https://help.f-secure.com/product.html#business/releasenotes-business/latest/en/fsls64-latest-en

[F-Secure Linux Security 64]

https://help.f-secure.com/product.html#business/linux-security-64/latest/ja(日本語版)

[F-Secure Linux Security 64 Change Log]

https://community.f-secure.com/t5/Linux-Products/Linux-Security-64-Change-Log/td-p/117646

2. 以下のサイトよりインストールパッケージをダウンロードします。

[F-Secure Linux Security 64 ダウンロード URL]

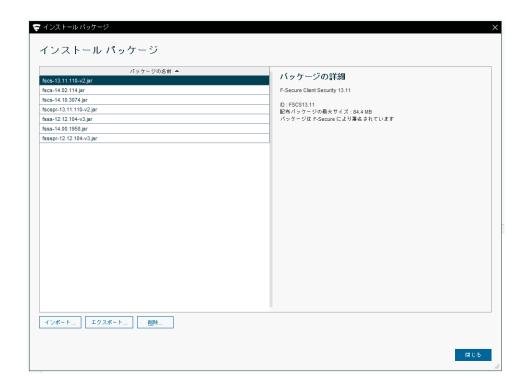
https://www.withsecure.com/en/support/product-support/business-suite/linux-security

- 3. Policy Manager Console を起動し Policy Manager にログインします。
- 4. インストール>インストールパッケージをクリックします。

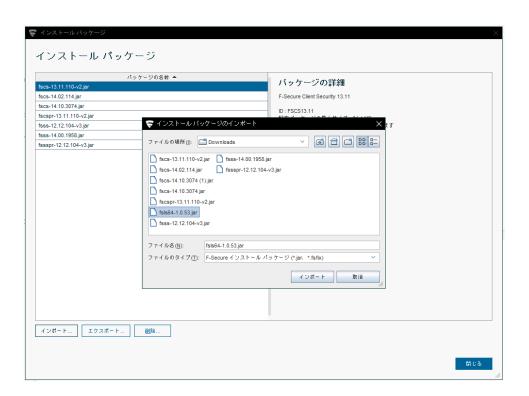


5. [インポート]を押します。



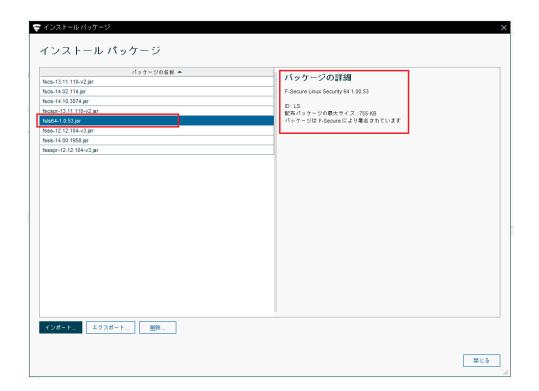


6. 手順2でダウンロード頂いたインストールパッケージを選択し[インポート]を押します。



7. インポートプログレスバーの表示が無くなり、パッケージの名前一覧にインポート頂いたパッケージ 名称が表示されていることを確認します。



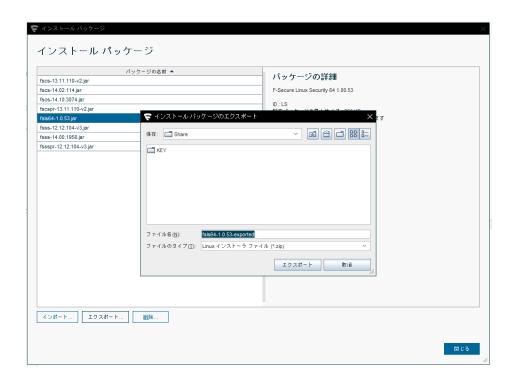


8. 対象パッケージを選択し[エクスポート]を押します。

パッケージの名前 ▲	* 1 - " - "Vilm
cs-13.11.110-v2.jar	パッケージの詳細
cs-14.02.114.jar	F-Secure Linux Security 64 1.00.53
cs-14.10.3074.jar	n. 10
cspr-13.11.110-v2.jar	D: LS 配布パッケージの最大サイズ: 755 KB
ls64-1.0.53.jar	パッケージは F-Secure により署名されています
ss-12.12.104-v3.jar	
ss-14.00.1958.jar	
sspr-12.12.104-v3.jar	
インボート エクスボート 副除	'

9.作成したインストーラを配置するフォルダを指定し[エクスポート]を押します。



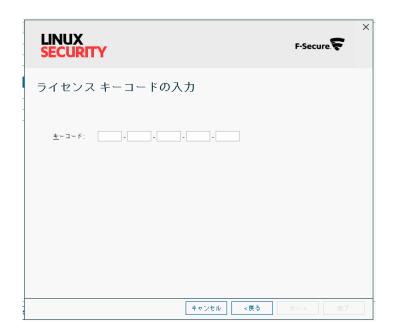


10. リモートインストールウィザードが表示されましたら[次へ]を押します。



11. ライセンス証明書に記載させて頂いておりますライセンスキーコードを入力頂き[次へ]を押します。





12.Policy Manager との通信設定を行い[完了]を押します。



ポリシーマネージャサーバのアドレス:

接続先ポリシーマネージャサーバのアドレスを入力します。

名前解決が可能な場合にはコンピュータ名や FQDN で入力頂けます。また、Policy Manager が稼働するサーバ機が固定 IP アドレスの場合には、IP アドレスでの入力をお勧めします。

HTTPポート:

Policy Manager のインストール時に指定された木ストモジュール(HTTP ポート)をご指定ください。 HTTPS ポート:

Policy Manager のインストール時に指定されたホストモジュール(HTTPS ポート)をご指定ください。

13.インストーラの作成が完了となりますと以下の画面となりますので[OK]を押した後に[閉じる]からインストールパッケージ画面を閉じてください。



パッケージの名前 ▲	if the sameYem
scs-13.11.110-v2.jar	バッケージの詳細
scs-14.02.114.jar	F-Secure Linux Security 64 1.00.53
scs-14.10.3074.jar	D:LS
scspr-13.11.110-v2.jar	配布パッケージの最大サイズ: 755 KB
sls64-1.0.53.jar	パッケージは F-Secure により署名されています
sss-12.12.104-v3.jar	
sss-14.00.1958.jar	
fssspr-12.12.104-v3.jar	
▼ F-Secure ポリシーマネー:	ンャ コンソール ・ジを「C.\Share\fsis64-1.0.53-exported.zip」にエクスボートしました。 OK
	- ジを「C:\Share\fals64-1.0.53-exported.zip」にエクスポートしました。

- 14 対象の Linux 端末にて Root 権限にてログインします。
- 15.リリースノートをご参照頂き必要なライブラリがインストール済みである事を確認ください。
- 16.エクスポートされたインストーラを対象の Linux 端末の空フォルダ内へ配置・解凍します。

解凍後:



17.ターミナルから以下のコマンドを実行します。

bash f-secure-linuxsecurity/f-secure-linuxsecurity-installer



※"error 115"が表示されましてもエラーではございません為ご静観ください。
root@konary-ls64 LS64]# bash f-secure-linuxsecurity/f-secure-linuxsecurity-installer 準備しています ##################################
1:f-secure-linuxsecurity-12.0.6-1 ####################################
2019-06-20 10:32:37 fsguts2.c:2329[7] unable to fetch header information, error 115 operation in progress)
2019-06-20 10:32:37 fsguts2.c:2033[7] unable to fetch the header information for channel linuxsecurity-1200-linux-x86_64' version 1560857539, error 115 (operation in progress) 2019-06-20 10:32:47 fsguts2.c:2066[7] unable to fetch download options for channel linuxsecurity-1200-linux-x86_64' version 1560857539; error 115 (operation in progress) You must accept the F-Secure license agreement to continue. Press enter to view the license agreement.
19.[Enter]キーを押していただきますと以下の通りライセンス使用許諾契約について表示されます。 最後まで一読ください。(引き続き[Enter]キーを押して頂きますとスクロール致します)
F-Secure License Terms
- Secure License Terms
MPORTANT - BEFORE INSTALLING OR USING THE F-SECURE SOFTWARE, CAREFULLY READ THE FOLLOWING LEGAL TERMS ("TERMS"). BY SELECTING THE ACCEPTING OPTION, OR BY INSTALLING, COPYING OR USING THE SOFTWARE OR SOFTWARE-BASED SERVICE YOU EITHER AN INDIVIDUAL OR AN ENTITY) AGREE THAT YOU HAVE READ THESE TERMS, UNDERSTAND THEM AND AGREE TO BE LEGALLY BOUND BY THEM. IF YOU DO NOT AGREE TO ALL OF THE TERMS, DO NOT INSTALL, USE OR COPY THE SOFTWARE.
•
・

secure

18.以下の表示 ("Press enter to view the license agreement.") となるまでお待ちください。

•

If you have any questions on these Terms or if you would like to contact F-Secure for any other reason, please write: F-Secure Corporation, PL24, FI-00181 Helsinki, Finland, e-mail: helsinki@f-secure.com or

call: +358 9 2520 0700.

Do you accept this license agreement?

21.インストールが完了致しますと以下の通りの表示となります。

※"error 115"が表示されましてもエラーではございません為ご静観ください。

.

Do you accept this license agreement? yes

The license agreement text is available at /opt/f-secure/linuxsecurity/doc/LICENSE

Installing F-Secure Linux Security...

Installing F-Secure BaseGuard...

Created symlink from /etc/systemd/system/multi-user.target.wants/fsbg.service to /usr/lib/systemd/system/fsbg.service.

Created symlink from /etc/systemd/system/multi-user.target.wants/fsbg-statusd.service to /usr/lib/systemd/system/fsbg-statusd.service.

Created symlink from /etc/systemd/system/multi-user.target.wants/f-secure-linuxsecurity-lspmd.service to /usr/lib/systemd/system/f-secure-linuxsecurity-lspmd.service.

Created symlink from /etc/systemd/system/multi-user.target.wants/f-secure-linuxsecurity-statusd.service to /usr/lib/systemd/system/f-secure-linuxsecurity-statusd.service. [root@konary-ls64 LS64]#

インストールは完了となりますが、Policy Manager で管理端末とる為、引き続き以下の手順を実施してください。

22. Policy Manager Console を起動し Policy Manager にログインしますと、左上部の保留中が 0→1 となります。これは対象端末から Policy Manager に接続に来ていますが、まだ管理下となっていない事を意味しています。

管理下とするため、"保留中(1)"をクリック頂くか インストール>新しいホストをインポート を クリックします。





23.新しいホストをインポート 画面が表示されますので、対象端末をクリックして選択頂いてから [インポート]ボタンを押して頂きインポートされた旨ポップアップ表示され一覧から消えた事を確認してから、[閉じる]から閉じてください。



24.以下の例の通りドメインツリー内に対象端末が追加されている事をご確認ください。





※ご参考:

以下の通り インポート>インポートルール に空のルールを追加しておいて頂けますと、 以降新しい端末にインストールが行われた際に手動で追加頂くことなく自動でドメイン ツリーに追加されます。



25.対象端末にてテスト用の eicar ファイル eicar.com をご用意ください。
Root ユーザで以下のマニュアルスキャンコマンド fsanalyze を実行して EICAR を検知すれば、インストールは正常です。



/opt/f-secure/linuxsecurity/bin/fsanalyze eicar.com

eicar.com: result=infected infection=EICAR_Test_File

eicar.com: action=renamed

Engine versions: F-Secure Corporation Aquarius/18.0.533/2019-06-18_08 F-Secure Corporation Hydra/5.22.84/2019-06-18_01 F-Secure Corporation FMLib/17.0.398.370 (2547fcb)/2019-04-17_01 fsicapd/1.1.470-171f15b

- 1 files scanned
- 1 files infected

#

テスト用の eicar ファイル eicar.com ダウンロード URL: http://2016.eicar.org/download/eicar.com

※アンインストールについて

アンインストールを行う場合には以下手順で実施頂けます。

1. Root 権限にてログイン頂きターミナルから以下のコマンドを実行します。

rpm -e f-secure-linuxsecurity

2. 引き続きターミナルから以下のコマンドを実行します。

rm -rf /opt/f-secure /etc/opt/f-secure /var/opt/f-secure

ご注意:他の弊社製品が共存している場合、このコマンドにより削除されてしまいます。 他の弊社製品が共存している場合での削除につきましては弊社サポートセンターまで お問合せください。

3. 再度インストールする場合には、再起動を実施してください。

